

研究課題名	大腸腫瘍に対する内視鏡診断、治療に関する検討
研究の意義・目的	大腸癌は我が国のがん死亡数において女性の第1位で、罹患数においても男女計の1位を占めており、大腸癌の克服は国民的課題といえます。一方、大腸癌はそのほとんどが腺腫などのポリープから発生するが、早期に発見し、内視鏡治療を行うことで、大腸癌死を抑制することが判明しています。大腸腫瘍に対する内視鏡診断、治療についてその現状を検討し、問題点や今後の課題を明らかにすることで、より質の高い検査や治療を提供できることができると考えています。さらに、患者さんの苦痛や負担の軽減や術者・担当医の負担の軽減、医療費の削減などにも貢献できると考えます。
研究を行う期間	承認後～2027年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2005年4月1日～2026年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、大腸腫瘍に対して内視鏡検査もしくは内視鏡治療を施行した患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、検査日、治療日、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、検査データ、内視鏡画像、内視鏡所見、CT画像など】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 福永 周生
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 福永周生 電話番号：06-6645-2316